

奈良市協働のQ&A

vol.12

協働の相手とのネットワークがあれば協働がスムーズに進みます。今回は市民公益活動団体とのネットワークの作り方について、また作ったネットワークの保ち方について紹介します。

Q16 市と市民公益活動団体とのネットワークはどのように作ればよいの？

A16

まずは、協働推進課やボランティアインフォメーションセンター、ボランティアセンターが把握している団体と繋がっていくのも方法のひとつだよ。（センターについては『奈良市協働のQ&A』vol.7を見てね！）

また、繋がりができた後は、定期的に情報交換や事業の実施に関する打合せの機会を設けるなど、常に顔の見える関係を築き、ネットワークを広げていこう。普段からの付き合いの中で、お互いに尊重しあい、信頼関係を築いていくことが重要なんだ。

「お互いに尊重しあう」といっても、まったく知らない者同士が最初から尊重しあうことは難しいので、普段からいろいろな情報を共有し合い、本音で議論をして、よりよい関係を築いていこうね。



協働の事業例紹介！！

協働事業について、これまでに他市や他団体のいろいろな方法を紹介してきたけど（『奈良市協働のQ&A』vol8・10参照）、今回は、奈良市が実際に行っている協働事業の事例を紹介するよ！

アダプトプログラム推進事業 担当課 協働推進課

どんな事業をどんな形で協働してるの？

アダプトプログラム推進事業は市民の方々による、市が管理する道路、河川等の公共の場所の美化活動を通して、地域コミュニティの再生を図ることを目的とした事業だよ！

協働の形態 事業協力

協働の相手 2名以上からなる任意の団体
市民公益活動団体
事業者など



どんな事業なの？それぞれの役割は？

アダプトプログラムのしくみ

- 空き缶、吸い殻などのごみの収集
- 花を植える・花壇の手入れ
- その他の美化活動



市道などの公共エリア

- サインボード（清掃活動をしている団体の名前を書いたボード）を設置



協働



- 公共施設の損傷や不法投棄などがあれば、情報を提供

- ほうきや軍手などの清掃用具の支給
- 活動中の事故に備えて、全国市長会市民総合賠償補償保険の適用
- 清掃活動で出たごみの回収

どんなメリットがあるの？



- ★ 気の合った人たちと、自分たちのまちを自分たちの手でキレイにできる！
- ★ 奈良市がほうきや軍手など清掃用具の支給と、集めたごみの回収をしてくれるので、とても気軽に活動ができる！

- ★ 市の道路・河川等の美化を市民の方々に担ってもらうことで、「自分たちのまちは自分たちできれいにしよう」という意識が芽生え、地域コミュニティの再生につながる！
- ★ 市民にボランティア意識が醸成される！



奈良市のなかにも、いろいろな協働事業があるんだよ！また、他の事例についても紹介していくね！

NEXT!

Q17 協働しても事業の質・公平性・公共性は維持できるの？

…協働を始めるには、やっぱりいろいろと気になることが多いんだよね

